

## 在宅介護を支える移乗サポートロボットの最新モデル

### 「Hug L1-02」2026年3月末より受注開始

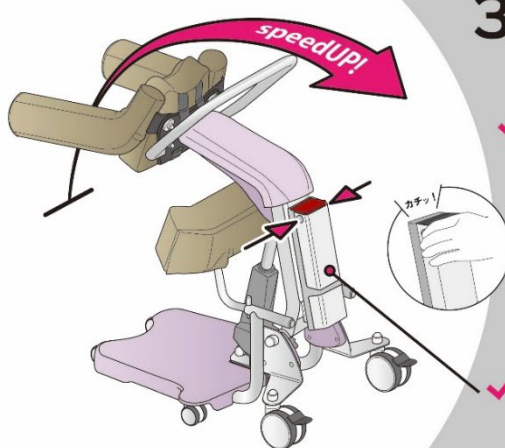
～在宅利用が進む「Hug L1-01」がさらに進化、スピードとメンテナンス性が向上～

株式会社 F U J I (本社: 愛知県知立市、代表取締役社長: 五十棲 丈二、以下「F U J I」) は、在宅介護および介護施設における排泄介助・更衣介助の移乗支援に活用可能な移乗サポートロボットを開発・販売しております。「Hug」シリーズは、前方支援型で固定具を必要とせず、ご利用者の残存機能を活かした移乗支援を可能にするロボットとして、2016年に販売を開始しました。以降、施設向けに加え、在宅介護に適した L1 モデルを在宅向け移乗支援ロボットとして先駆けて市場投入してまいりました。このたび、在宅モデルの機能を向上させた「Hug L1-02」を開発し、2026年3月末より受注を開始いたします。

介護保険レンタル対象！トイレ介助の最強のパートナーです

移乗サポートロボット

Hug L1-  
02  
MODEL



＼L1-01 からさらに進化／

**3つのUP!**

✓ **立ち上がり速度 UP!**

25 秒から 16 秒に！  
移乗時間の短縮へ

✓ **メンテナンス UP!**

ワンタッチ脱着式に！  
交換時間約 5 秒

✓ **バッテリー寿命 UP!**

寿命が約 2 倍に！  
メンテナンスコストの低減へ

#### ■開発の背景

高齢化の進展に伴い、介護負担の軽減が重要性を増しています。F U J I では、これまで移乗サポートロボット「Hug」シリーズを開発し、累計で約 5,500 台を販売。介護現場の移乗負担、特に介護者の腰痛軽減に貢献してきました。とりわけ、在宅モデル「Hug L1-01」は、老々介護が進む在宅介護における大きな課題となっている「排泄介助」を支援するロボットとして、介護保険を活用したレンタル利用が広がっております。

今回発売する「Hug L1-02」は、2018年4月に発売した L1-01 の後継機となる進化モデルで、これまでお客様から寄せられた声を反映しながら開発を進めてきました。

## ■製品の特長



- (1) 立ち上がり速度が向上し、移乗時間を短縮
- (2) 脱着式バッテリーを採用し、従来比約 2 倍のバッテリー寿命を実現
- (3) 在宅利用に適したサイズは L1-01 を踏襲し、だれでも簡単に操作可能。
- (4) 安定した立位姿勢を保持し、排泄介助・更衣介助をサポート

定価：103 万円（非課税）

寸法：全長 880×全幅 550×全高 850 ～ 1200mm

重量：30kg

介護保険レンタル対象

## ■今後の展開

「Hug L1-02」は、2026 年度は 400 台、2027 年度は 600 台の出荷を目指します。また、4 月 15 日～17 日に開催される「バリアフリー展（インテックス大阪）」に出展し、本製品を初公開するとともに、実演デモを実施予定です。

介護人材不足や老々介護の増加が社会課題となる中、F U J I は移乗介助の負担軽減に取り組む移乗サポートロボットのパイオニアとして、利用者とともに製品改良を重ね、在宅介護を支えるロボットの進化を加速してまいります。

### FUJI 出展概要

出展先：第 32 回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展  
バリアフリー2026

会期：2026 年 4 月 15 日（水）～17 日（金）10：00～16：30  
※最終日 17 日（金）は 16:00 まで

会場：インテックス大阪

公式サイト：<https://www.tvoe.co.jp/bmk/>

FUJI ブース：4 号館 4-209

## ■会社概要

会社名：株式会社 F U J I  
代表者：代表取締役社長 五十棲 丈二  
所在地：〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19  
設立：1959 年 4 月  
事業内容：電子部品実装ロボットならびに工作機械の開発、製造、販売  
資本金：5,878 百万円  
FUJI 公式 HP：<http://www.fuji.co.jp/>  
Hug 公式 HP：<https://hug.fuji.co.jp/>

## ■本件に関するお問合せ

ロボットソリューション事業本部  
新規事業部 Hug プロジェクト 【担当】山崎  
TEL：0566-55-8800 Email: hug@fuji.co.jp